

財團協調會福岡出張所

して浅野財閥の牙城に喰入つた諸君の努力に感謝す、不撓不屈の闘争を續けよ。

○社會大衆黨 門司支部 坂 本 某

設立當初の第一回第二回の爭議を経て殊に二回目の時は全幹部檢束されたにも不拘あの壓迫、斷壓を排して一糸亂れず進まれたる結果此處に第六回大會を迎へた事を誇とする、今や非一當時は國內、國外にあり、無產階級の手に依り改革すべきである。

○日本労働總同盟九州聯合會 伊 藤 卯 四 郎

諸君五ヶ年間苦闘の跡は涙なくして言ひ得ぬ、第二回の爭議は九州の大爭議と云つてよい、幹部は首切られ、或は負傷し、投獄せられ次々に涙ぐましき事を考へさせる残つた幹部諸君の撓まさる努力が第六回大會を迎へた信